

子どもたちを放射能汚染から守り、原発から自然エネルギーへの転換をめざす女性ネットワークみやぎ
「女性ネットみやぎ」ニュース No.87 2019.5.28

ブログ : joseinet-miyagi メール : housyanoujoseinet@hotmail.co.jp Tel /fax 022-215-3120

女性ネットみやぎ 7周年記念

武藤類子さん講演会にぜひご参加ください。

6月15日 13時半～於・仙台弁護士会館4F



「女性ネットみやぎ」7周年記念

武藤類子さん講演会

「原発事故から8年 福島現状と判決を迎える東電刑事裁判」

武藤類子さんプロフィール

1953年福島県生まれ。福島県三春町在住。和光大学卒業。版下職人、養護学校教員を経て、2003年に里山喫茶「燐(ろう)」を開店。チェルノブイリ原発事故を機に反原発運動にかかわる。福島事故の半年後、東京での舞会の時のスゴ子「福島からあなたへ」が各国語に翻訳され、その名が海外に知れ渡った。2012年6月には、「事故の責任を問わなければ、この国は変わらない」と、1千人を超える福島県民とともに、東京電力役員や官僚を告訴した。現在、「11/10アクション福島」事務局・福島原発告訴団副団長。著書に、「福島からあなたへ」(大月書店)がある。



「女川原発再稼働の是非」が問われる今、あの福島原発事故と、その後を改めて問い直す。

特別報告・多々良哲さん

「女川原発再稼働の是非をみんなで決める会」の代表・多々良哲さんに、県民投票実現を求めて全県でとりくんだ運動と今後の課題について、報告させていただきます。

6月15日(土) 参加費 500円

13:30～16:00

仙台弁護士会館4Fホール



主催 子どもたちを放射能汚染から守り、原発から自然エネルギーへの転換をめざす女性ネットワークみやぎ
 連絡先 【略称＝女性ネットみやぎ】TEL・FAX 022-215-3120 社経 090-2983-6435 (事務局本団)



～ 守りたい、いのち・子どもたちの未来 ～

**11万県民の署名が
問いかけたものを受けて**

私たちは、この間、女川原発再稼働の是非を問う県民投票の実現を求めて、「県民投票条例の制定」を求める直接請求署名運動にとりくみました。わずか2ヵ月間で、11万1,743人の有効署名に達しました。

条例案を審議する県議会には、連日、多数の県民が駆けつけ、傍聴席を埋め尽くしました。この署名に寄せられた県民の思いは、ひとえに、「大事なことだから、県民の意見をきちんと聞いて決めて欲しい。」ということに尽きます。

あの福島原発事故による放射能灰を被ばく被災し、この宮城で生活している私たちは、「被ばくの不安なく子どもたちを育てたい」「原発と対局にある新しい社会をつくっていききたい」という素朴な思いを込めて、「女川原発の再稼働 STOP!」を求める署名活動を続けてきました。

県民投票は今回ありませんでしたが、署名されたみなさんの思いを力に、原発のない社会を求めて声を上げる人の輪を、もっともっと、大きくしていきたいと思っています。

女性ネットみやぎの活動目標／呼びかけ人

・子どもたちを放射能汚染から守り、原発から自然エネルギーへの転換をめざします。
 ・女川原発をはじめ国内すべての原発を再稼働しないように求めます。

呼びかけ人共同代表：渡野富美枝・小澤かつ・児玉秀江・村口蘭代・山田いずみ

安達 喜美子	大越 弘美	木村 綾紗子	佐藤 澄子	立石 美穂	山田 悦子
阿部 恭子	大友 佳純子	早野 祐子	佐藤 千鶴子	谷間 啓子	樋口 眞子
天野 清子	大山 あゆみ	工藤 祥子	佐藤 美子	丹野 薫子	守屋 アツ
池野 暢子	岡村 祐子	小泉 知加子	佐藤 理絵	丹野 広子	北條 裕子
池原 亮子	小野 とみ	小林 純子	笠原 まゆみ	出浦 由美子	本田 未久子
一戸 真子	加々見 ちづ子	齋藤 昭子	菅原 美子	高川 洋子	前野 久美子
伊藤 貴美子	徳又 岩子	高橋 響美	高橋 恵美子	高永 智津子	宗片 恵美子
伊藤 任佐子	門田 麻子	源井 文子	杉山 弘子	中村 晴美	村松 敦子
入田 純子	藤内 あつ子	佐川 美恵	須藤 謙子	高橋 南子	矢崎 とろ子
岩崎 久美子	藤田 光子	佐々 礼子	高田 亮子	野田 アイ	八嶋 洋子
榎林 由美子	川名 薫子	佐々木 政枝	高野 和子	高野 尚美	岩崎 尚美
津波 美子	川藤 美子	佐々木 佳久	高野 幸子	芳賀 ヒロ子	八嶋 悦子
大木 れい子	本坂 理絵	佐藤 郁子	高橋 京	橋本 由美子	横田 育子



子どもたちを放射能汚染から守り原発から自然エネルギーへの転換をめざす女性ネットワークみやぎ
 連絡先：仙台市青葉区大町2-5-10御階ビル305 tel・fax022-215-3120 (事務局本団)

**女川原発再稼働 STOP を求める
私たちのこれからの活動は・・・**

3月15日、宮城県議会は、11万以上の県民が請求した「女川原発の再稼働に関わる県民投票条例案」を35対21の反対多数(自民党・公明党の議員)で否決しました。

10～11月の2ヶ月だけの短期間に、多くの県民が自筆サインし捺印して求めた県民投票は、実現できませんでした。

東北電力は、2号機再稼働に向けた最後の仕上げを急ピッチで進めており、女川町長・石巻市長・宮城県知事・県議会に対して、年内にも再稼働同意を求めてくることが予測されます。この署名について、知事も県会議員も、「県民の意向を重く受け止める」「県議会が決める事」と発言していました。署名した多くの方が、知事に任せていいのか？発言の意味はどういうことか？もっとはっきりしたことを知りたい、と思っています。12万近い県民が署名に託した思いを束ねて、「女川再稼働 STOP!」を求める声をもっと大きく強くして、「民意を形にし、力に変える」とりくみを急ぎましょう。

この講演会で福島の闘いと経験を学んで、宮城での「原発再稼働 Stop」子どもたちを守る署名や運動をいっそう強めていきましょう。

お詫び 特別報告は、篠原弘典さんになりました。

特別報告を予定しておりました多々良哲さんに別の用件が重なって参加できなくなり、篠原弘典さんをお願いしました。

「女川原発の再稼働を許さない！みやぎアクション」の世話人で、東北大学在学中に原子力の危険性を知り、それからは女川原発反対、反原発運動を40年以上にわたってねばり強くとりくみ、全国的な運動もリードしてこられた方です。

この4月まで全県でとりくんだ県民投票を求める「みんなで決める会」の運動では、最初から、多々良さんとともに、運動を推進する中心になって活躍されました。篠原さんの報告にご期待ください。

放射能汚染廃棄物焼却反対の闘い

大崎市岩出山のゴミ焼却場での試験焼却中止を求め、10月に提訴した住民訴訟で、仙台地裁は4月26日、セシウム放出は受忍限度内、などを理由に申し立てを却下した。住民側は即時抗告。また、試験焼却の市予算差支を求めた訴訟も係争中で、次回公判は6月4日13時半～。多数の傍聴参加を呼びかけている。

ドキュメンタリー映画「福島は語る」を観て

先月、仙台駅東口の映画館チネ・ラヴィータで1週間だけ上映された「福島は語る」を観に行きました。ドキュメンタリー映画で、14人の被災者本人が、福島原発事故により、家や生業、学校を、いのちを、帰るふるさとを奪われた苦しい現実とくやしい思いをそのままに語り、将来の希望を奪い人生を狂わせた原発の被害を告発しています。

- 子どもを抱えて新潟に自主避難した母親。避難生活が長引く中で、通っていた夫との関係が壊されたことを涙ながらに語っていました。
- 飯館村で石材加工を始めて家を新築して順調になってきたところに原発事故。家も生業も息子までも失うことになって、この先……
- 各地に避難した子どもたちに、手書きのお便りを送って、励まし続けた小学校の女性教師。何とか元気づけたい、とさまざまな工夫をしながら、子どもたちの思いに寄り添っている状況……

武藤類子さんも登場しました。14人それぞれがおだやかな口調で証言するきびしい状況や映し出された映像—被災者の表情や福島の現状—から、その心の奥底まで、観ている私たちに伝わってきました。原発事故が生み出したこの状況をどこにも二度と起こさせないため、脱原発の共同をもっともっと大きく、と強く思いました。

2時間51分という長さを少しも感じさせず、「ああ福島」(詩・武藤類子/曲と歌・李政美)の澄んだ歌声が流れるなか、エンディングとなりました。(本田)



原発・放射能・子ども・平和関連の企画など、各地・各団体のとりくみ

女川原発再稼働 STOP! 放射能汚染ゴミ焼却 埋め込み反対! さらに強く大きな声をあげよう!

◆脱原発デモ・金曜デモなど

- * 旧古川地域：大崎 demo 金曜デモ・毎週金曜 17時半・あさひ中央公園集合後デモ
- * 塩釜地域：塩釜きん発デモ・金曜 17時半下馬駅裏宮城民医連事業協前集合後デモ・5/3は休
- * 岩沼市：「原発ゼロ戦争させない岩沼歩き隊」毎月第3金曜日 14時岩沼駅東口広場で集会後デモ
- * 仙台長町地域：第3水曜12時半～原発も戦争もNO! たいはくアクション・仙台長町・蛸薬師境内集会後デモ
- * 脱原発みやぎ 金曜デモ仙台中央部 「女川原発再稼働するな! 子供を守れ! 汚染はいらない! みやぎ金曜デモ」
5/31(金) 肴町公園 18:10集合、18:30デモ出発・・・6月からは集合時間が変わります。
6/7(金) 錦町公園、6/14(金)・6/28(金)勾当台公園野外音楽堂、18:30集合、18:50デモ出発
6/23(日) 錦町公園、14:40集合、15:00デモ出発



- ◆5月25日(土)9時～16時半 終わらない原発被害Ⅱ～裁判闘争に立ち上がった池月の住民との交流～ 共催・宮城県食健康・宮城県農民連 参加費2000円バス昼食代込み(募集25人)
- ◆5月26日(日)10時～15時 甲状腺エコー検査じよこ検査 会場：石巻中央公民館 資料代500円 主催：子どもの健康を考える会いしのまき 定員40名 予約・問合せ＝放射能問題支援対策室いずみ022-796-5272
- ◆5月26日(日)仙台子どもまつり 於・仙台市三神峯公園 主催・実行委員会
- ◆5月28日(火)14時～16時半 公開講演会「脱原発のドイツに学ぶ」講師・ミランダ・シュラズさん於・仙台基督教会(国分町2丁目・県民会館近く) 講演は日本語です。主催・日本聖公会「原発のない世界を求める国際協議会」実行委員会・無料
- ◆5月31日(金)18時15分～ 自民党改憲案4項目Q&Aの批判的検討 講師・小野寺浩史弁護士 主催・宮城憲法会議 資料代300円
- ◆6月1日(土)14時～16時「沖縄の現状とこれから」講演・阿部岳さん(沖縄タイムズ記者) 於・仙台弁護士会館4F・無料 主催・仙台弁護士会
- ◆6月4日(火) 大崎住民訴訟 仙台高裁13時半～
- ◆6月5日(水) 8時半～17時 東日本大震災から8年復興教育と地域再生をめざす石巻市雄勝のとりくみに学ぶ 講師・小川静治氏・徳永博志氏 参加費・5000円(バス代、保険・昼食含む) 主催・婦人民主クラブ宮城県支部協議会
- ◆6月7日(金)13時半～16時半 宮城県 第17回女川原発の安全性に関する検討会 於・ベルエア会館501 (先着順ですが、どなたでも傍聴できます。)
- ◆6月7日(金)18時～原発労働者の健康問題 講師・各務竹康氏(福島県立医大准教授)於・戦災復興記念館4F 参加費500円
- ◆6月8日(土)10時～12時 栗原放射能ネット学習交流会 於・栗原市市民活動交流センター 資料代300円 主催・放射能から子どもたちを守る栗原ネットワーク
- ◆6月8日(土)13時半～17時東日本大震災8年のついで「これが復興なのかー人間・暮らしの復興を!ー」於・戦災復興記念館ホール 無料
- ◆6月9日(日)13時～「変えよう! アベ政治 ストップ! 改憲発議 6・9宮城県民大集会」於・仙台市錦町公園 主催・県民集会実行委員会
- ◆6月11日(火)いっせい焼却反対県連絡会16時～於・御譜代町ビル305
- ◆6月15日(土)13時半～女性ネットみやぎ7周年記念 武藤類子さん講演会「原発事故から8年福島の現状と判決を迎える東電刑事裁判」於・仙台弁護士会館
- ◆6月16～23日 国民平和行進 宮城県内行進～20日仙台錦町公園で合流集会・デモ
- ◆6月29日(土)13時～16時「命の水を守る全国をついでin宮城」於・東北学院大学押川記念ホール 主催・実行委員会
- ◆6月30日(日)13時半～15時半 宮城県の放射能汚染と被ばくの状況(仮題)講師・三田常義氏[みんなの放射線測定室とてと]於・仙台シルバーセンター 主催・脱原発仙台市民会議 共催・放射能汚染廃棄物一斉焼却反対宮城県民連絡会
- ◆6月30日(日)13時半～第4回語り継ぐ平和と希望の音楽会～ぞう列車が走って70年 全国つながりコンサートin東北～ 於・イズミティ21大ホール 主催・宮城のうたごえ協議会 参加費1000円
- ◆7月6日(火)18時半～20時半 風の会・公開学習会「どうする女川原発・核のゴミ? 1号機廃炉と2号機再稼働のねじれた関係」講師・澤井正子さん 於・仙台市市民活動サポートセンター6Fセミナーホール 参加費700円 主催・みやぎ脱原発・風の会
- ◆7月4日 参議院選挙公示～7月21日投票